

2 個別事業評価調査

団体名：与謝野町

事業名		小型除雪機配備事業					
事業の概要		大型除雪車で除雪できない箇所や通学路等早期の除雪を必要とする路線について、町が小型除雪機を用いて除雪している。しかし、その他の箇所については、地元で除雪してもらうことになっており、要望があれば地域住民による除雪作業の労苦の軽減を図るため小型除雪機を貸与している。今後は益々地域協力への依存度が高まっていくことは必至であり、本事業を通し町と地域との協働による住民生活と交通の円滑化を図るものである。 ・手押し式小型除雪機購入（地区貸与用）					
		事業期間	平成22年6月16日～平成22年11月26日				
		総事業費	575	本年度事業費	575	交付金交付額	287
事業評価	事業の必要性	大型除雪車で除雪できない箇所について、町が除雪する箇所以外は地域の協力を依存しているが、要望のある区に新規購入した小型除雪機を貸し出し地域で除雪を行う。					
	事業の有効性	小回りの利く小型除雪機を配備することにより、除雪車の進入できないような狭小道路等の除雪を地域住民自らの手で行うことが可能となる。					
	事業の効率性	地域への小型除雪機の貸与状況の格差を解消し、行政では対処しきれない箇所を地域で管理することにより、良好な道路環境を維持し、冬季における住民の安全の確保に資する。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 住民自身が除雪という地域の生活環境を改善させるための作業に従事することで、自治意識の向上を図ることができる。					
		3 リーディング・モデル成果 小型除雪機貸与要望の段階で除雪箇所・除雪作業員名簿等具体的な計画を求めることで、地域住民が地域一体で行なう事業であるとの認識を持ち、同時に町全体の除雪事業への理解を深めることができる。					
4 広域的波及成果 高齢化が進む当町においては、地域の除雪作業を高齢者に頼らざるを得ない状況が生じているが、小型除雪機の導入によりこれらの負担の軽減を図ることができる。このことは、地域協力についての働きかけを進めていく上において不可欠な条件である。							
5 行財政改革に資する成果 住民の除雪要望は年々高まっているが、それに対して、業者を用いて行なう町の除雪には業者数に限界があり、今後は益々地域協力への依存度が高まっていくことは必至である。本事業は、町と地域との協働によって住民生活と交通の円滑化を期待するものである。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。